

幹細胞評価基盤技術研究組合（略称：幹細胞組合）の概要

- **設立年月日** : 平成23年2月16日
- **理事長** : 柳原 直人（富士フィルム（株）執行役員）
- **組合員** : （27企業1国研1団体）
エイブル(株)、(株)オンチップ・バイオテクノロジーズ、(株)クラレ、(株)サイフーズ、(株)ジェイ・エム・エス、澁谷工業(株)、(株)島津製作所、伸晃化学(株)、(株)SCREENホールディングス、住友ベークライト(株)、高砂電気工業(株)、大日本印刷(株)、大陽日酸(株)、タカラバイオ(株)、玉井化成(株)、東京応化工業(株)、(株)ニコン、日産化学工業(株)、ニプロ(株)、日本光電工業(株)、パナソニック プロダクションエンジニアリング(株)、(株)フェニックスバイオ、富士フィルム(株)、藤森工業(株)、(株)堀場製作所、(株)リプロセル、和光純薬工業(株)、国立研究開発法人国立成育医療研究センター、一般財団法人バイオインダストリー協会
- **事業費** : 平成29年度8.8億円
- **事業の概要** : ①細胞製造・加工システムの開発 ②創薬支援基盤技術の開発

○組合設立の目的

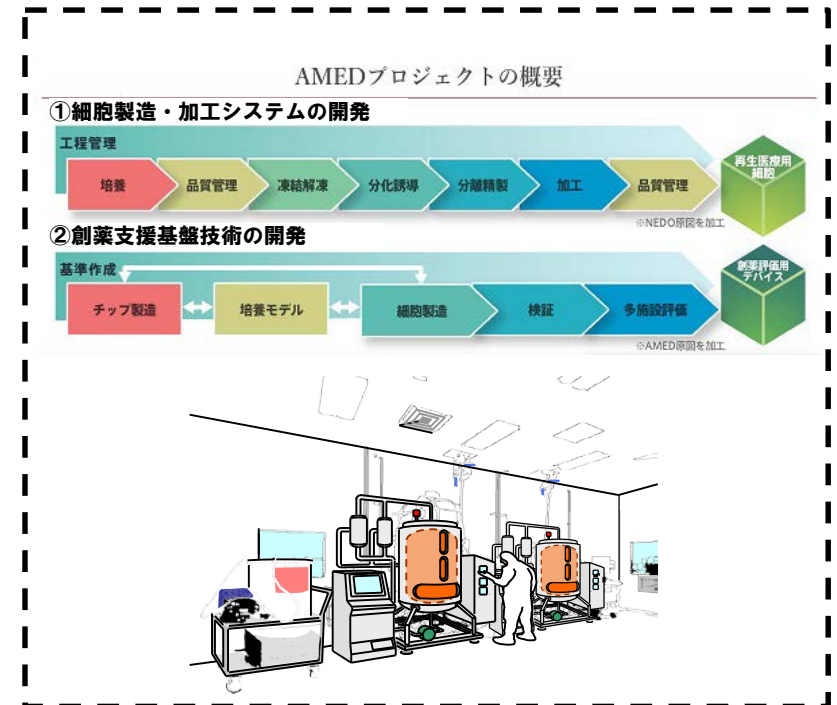
組合員の協同によるヒト幹細胞実用化に向けた評価基盤技術の開発に関する試験研究その他組合員の技術水準の向上及び実用化を図るための事業を行う

○実用化の方向性

- ①製造システム開発に向けて効率化／低コスト化等の余地がある個別要素技術につき、高機能化、アップグレード対応を図り、実用化を実現する。
- ②製薬企業等のニーズを最大限に活かした、チップ等デバイスを用いた細胞・組織評価系の実用化を目指す。

○事業化の目途の時期

PJの終了時に、実用的かつ最新の設計指針を実現し、数年後に製品化を目指す。PJ期間中においても、製品化可能なものは、随時、市場に出していく。



● 研究開発体制

— AMEDプロジェクトの実施体制 —

代表機関 分担機関 知財合意書 共同研究契約書

AMED

細胞製造システム事業 PS: 中畑 龍俊 京都大学教授

人体模倣システム事業 PS: 梅澤 明弘 国立成育医療研究センター副所長
PO: 小島 肇 国立医薬品食品衛生研究所 室長

